

集大成 澤尻3位



【成年女子3000m決勝】力強い滑りで3位に入った澤尻恵里英（手前）＝YSアリーナ八戸

連続表彰台「八戸へ恩返し」 成年女子 3000

ヒロイン
 成年女子3000mで、澤尻恵里英（八戸）が力強い滑りで3位に入りました。表彰台に上り、涙を流しながら喜びを表現していました。

強い滑りで3位に入りました。前日の1500m決勝を前に、澤尻恵里英は「表彰台に上りたいのは、何よりも早く八戸へ恩返ししたい」と話していました。レース後は「表彰台に上ることができて、本当に嬉しいです。八戸の皆さん、応援してくれてありがとうございます。これからも頑張ります」と話していました。

北進選手、宇津木選手の大会で、宇津木選手は「表彰台に上りたいのは、何よりも早く八戸へ恩返ししたい」と話していました。レース後は「表彰台に上ることができて、本当に嬉しいです。八戸の皆さん、応援してくれてありがとうございます。これからも頑張ります」と話していました。

4年生女子は、宇津木選手は「表彰台に上りたいのは、何よりも早く八戸へ恩返ししたい」と話していました。レース後は「表彰台に上ることができて、本当に嬉しいです。八戸の皆さん、応援してくれてありがとうございます。これからも頑張ります」と話していました。

3000m決勝は、宇津木選手は「表彰台に上りたいのは、何よりも早く八戸へ恩返ししたい」と話していました。レース後は「表彰台に上ることができて、本当に嬉しいです。八戸の皆さん、応援してくれてありがとうございます。これからも頑張ります」と話していました。

表彰台に上ることができて、本当に嬉しいです。八戸の皆さん、応援してくれてありがとうございます。これからも頑張ります」と話していました。

（小嶋 文）

上野快走8位、初入賞

少年女子3000



○少年女子3000級高が8位となり、うれし
で、上野恵理子（八学光星）国体初入賞。予選のタイ

ムを7秒以上上回る快走で「1年の頃から出場しているが、ずっと入賞できず悔しかった。やっと入れた」と、飛び切りの笑顔を見せた。

集団後方で控えるレースプランを前日に立てていたが、実際は激しく選手の並びが入れ替わる展開になった。大歓声で監督の指示も聞こえず「どうやって前に出ようかと、ずっと考えながら滑っていた」。最後は僅差で9位以下の選手を振り切った。「タイムが出るこのYSアリーナが好き」と上野。「たっさんの歓声の中で入賞できた。悔いはないとすがすがしかった。」

【少年女子3000級決勝】自己ベストを更新する4分17秒27で、8位に入賞した上野恵理子



【成年女子1000級決勝】5位に入った鬼頭琴音（白赤の帽子）と大岩未奈美（緑）

波乱レース ダブル入賞

成年女子1000

鬼頭5位 大岩6位

成年女子1000級で、八学大の短距離2人がそろって賞状を手にした。鬼頭琴音が5位、大岩未奈美が6位入賞。ハイペースなレース展開だったが、鬼頭は「トップにしっかりとついていった。勝負を楽しめた」と目を輝かせた。

レース前には、普段通りに「グータッチ」をかわし、お互いライバル同士だが「青森県勢同士頑張ろう」と爽やかに健闘を誓い合った。スタートでは、大外に大岩、その隣に鬼頭が並んだ。決して思われた位置ではなかったが、「同じ大学で並べて、気持ち良かった」（鬼頭）。最初の責任先頭を狙ったが、外側から狙うのは

リンクサイド
link side

難しく、2人とも集団の後方に落ち着いた。体力を温存しつつ、外側から仕掛けたが、大岩は「追い上げ切れなかった」と実力差を痛感する結果となった。

最後の直線では、前方の選手2人が転倒するトラブルもあるなど、波乱のレースとなったが、2人はそろってすがすがしい表情。大学生最後の団体となった鬼頭は「何が起るか分からないレースの中で、悔しさも楽しさも経験できて良かった」。現在2年生の大岩は「来年につなげるレースができた」と充実感でいっぱいだった。

（金澤千優希）